

# 政府・東電が原発汚染水海洋放出を強行

# 私たちは決してあきらめず 沈黙しない



8月27日いわき市で開催された7者共闘による海洋放出反対全国行動へ参加

岸田政権は8月24日、東京電力福島第1原発の汚染水（ALPS処理水）の海洋放出を強行しました。「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」という政府の国民、福島県民への約束を公然と破るもので断じて許されず、海洋放出の中止を求めます。



▲8月22日県庁前、ふくしま復興共同センターによる抗議集会

## 政府として責任をもって取り組む？

8月22日岸田首相は、閣議決定で汚染水海洋放出を24日に開始することを表明しました。その後行われた全漁連との会議で全漁連坂本会長は「海洋放出について反対の立場を堅持する」と放出反対を表明しました。これに対し岸田首相は「たとえ今後数十年の長期にわたるうとも処理水処分が完了するまで政府として責任をもって取り組む」と発言しました。2015年に福島県漁連に対し政府は「（原発構内に保管された汚染水を）関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」と約束をしました。その約束を公然と裏切り、舌の根も乾かぬうちに「政府が責任を持つ」など、全く信用できるものではありません。

## IAEAは「安全の根拠」にならない

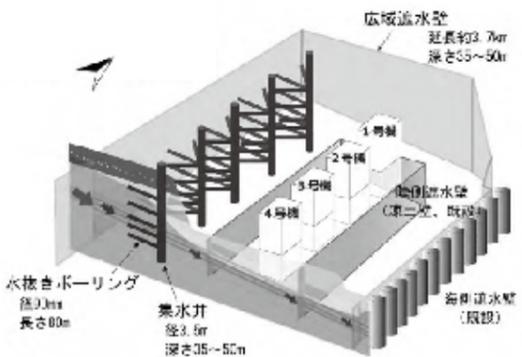
政府はIAEA（国際原子力機関）の包括報告書により安全が証明されたかのように説明しています。しかし報告書の序文でIAEAグロッシ事務局長は「処理水の放出は日本政府の決定であり、この報告書はその政策を推奨したり支持するものではない」と強調しています。

市民や有識者で作る原子力市民委員会は、IAEA報告書は科学的根拠にならないと以下のように指摘しています。  
・事故炉から生じた汚染水が意図的に海に流されたことは一度もない。

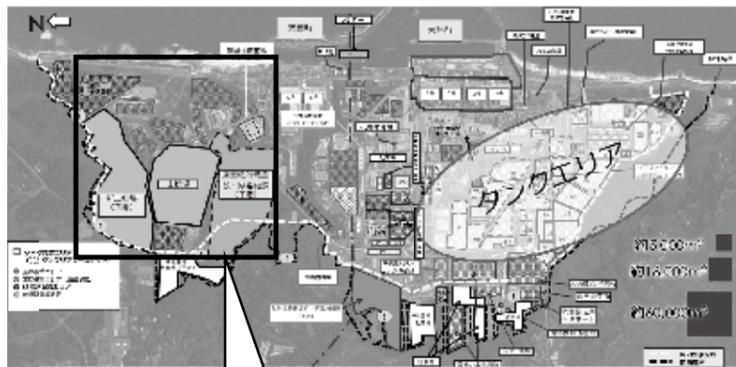
・タンクにためた水の7割近くにトリウム以外の放射性物質が排出濃度基準を超えて残っている。政府・東電はALPSの2次処理によって基準以下にして放出するとしているが、報告書はALPSの2次処理の性能を評価していない。  
・報告書は大型タンク保管やモルタル固化など他の選択肢を検討しておらず、IAEA自身の安全基準に反する。

## 海水放出ではなく、汚染水発生量を削減すべき

汚染水の発生を削減する広域遮水壁と集水井が提案されているが、真剣に検討されていない



原発団研ブックレット(2022)より



原発北側にある広大な空き地（800m×800m）に原油を保管する大型タンク 10万m<sup>3</sup>を設置することで現在発生している汚染水の長期間貯留することができる。大型タンクは石油備蓄で実績もあり、現在のタンクより堅牢である。

## 新たな被害発生への危険

核燃料が溶け落ちたデブリに接触して汚染された水は、ALPSで処理してもトリウムは除去できず、「規制基準以下」のセシウム、ストロンチウムなどの放射性物質は含まれています。さらに、汚染水発生そのものが止められなければ、排出は永遠に続くことになります。海水で薄めても総量の上限はわかりません。これでは漁業のみならず、水産加工・輸送・卸業や観光への影響が出ることは避けられません。福島の復興に重大な障害になることを被害者に押し付け、「賠償するから納得しろ」という問答無用な政府の対応は決して容認できません。

## 放出以外の対案を真剣に検討し、海洋放出を中止せよ

福島第1原発の建屋内への地下水流入を止めない限り、汚染水は増え続けます。地下水の研究団体は以前から「広域遮水壁・集水井」は既存の技術で実現可能な提案を示しています。原子力市民委員会からは既に発生した汚染水を「大型タンク長期保管・モルタル固化」の提案がされています。政府や東電はこれらに提案を真剣に検討していません。誰の提案であれ、これ以上の被害防止のため「世界の英知を結集」することが真の復興と廃炉へ向べきプロセスです。

## 農民連フラッシュ flash

### アグロエコロジー実践園場見学

8月24日二本松市内で、アグロエコロジー実践園場を福島新婦人と見学しました。有機水稲、有機野菜、有機不耕起野菜などの説明を受けました。新たな栽培方法を食べる人と作る人で確認し合うことは産直運動の柱でもあり、各地でも実施していきます。



### 原発汚染水海洋放出中止を求める全国行動

8月31日官邸前で原発汚染水海洋放出中止を求める抗議行動が開かれ、福島県からの参加者を含め100名が抗議の声を上げました。署名提出行動では、7万筆を超える署名を経産省に提出しました。提出後もオンライン署名が増え続けています。皆さんの協力をお願いします。



### 福島農民連の電気購入できます！

福島農民連産直農協が発電している電気を「みんな電力」から購入や応援することができます。再生可能エネルギー100%の電気も選択できます。みんなの選択で地球を冷やしましょう。

<https://minden.co.jp/personal/>



二本松発電所